

令和2年度事業報告

本格的な人口減少社会の到来や世帯規模の縮小、単身世帯の増加等の社会構造の変化を背景に、家族や地域の支え合い機能が低下する中、8050問題などの複雑化・多様化する福祉ニーズや社会的孤立、虐待、貧困の世代間連鎖など、従来の福祉制度の枠組みだけでは捉えきれない課題への対応が求められています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、福祉、保健、医療、教育、子育てなどの分野のみならず、経済等あらゆる分野に大きな影響を及ぼし、従来からの人と人とのつながりや地域福祉活動のあり方にも見直しを迫られました。

こうした情勢の中、本県においては、「地域共生社会」の実現に向け、住民自ら地域の福祉・生活課題を発見し、解決につなげることができる地域コミュニティの形成が求められており、これらの課題に福祉施設・団体、関係機関、専門職、住民、行政等が連携・協働して解決に取り組むための包括的・重層的な支援体制づくりが重要な課題となっています。

本会としては新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を施しながら、「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」を基本理念とする第4次活動推進計画に基づき、誰もが住み慣れた地域で人や社会とのつながりを持ちながら、必要な支援を受け、自分らしく安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、以下の基本目標のもと、地域福祉の視点から民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者はもとより、保健、医療、教育等関連分野との連携・協働を図りながら事業を実施しました。

【基本理念】 「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」

基本目標1 「あらゆる福祉・生活課題を受け止め、解決に向けて寄りそいます」

基本目標2 「誰もがつながり、支え合う地域づくりをすすめます」

基本目標3 「福祉を担うひとづくりと福祉サービスの向上に取り組めます」

本会が実施した主な取り組みは、次のとおりです。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等のため、一時的または継続的に収入が減少した世帯の資金需要に対応するため、市町村社協とともに緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例貸付を実施しました。
- (2) 包括的支援体制の整備を進める市町村をモデル指定し、「生活のしづらさを支える地域づくり」について社協と行政、関係機関が合同で考える場を設定するなど、相談支援、参加支援、地域づくりを一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」の考え方や進め方等について共通理解を図りました。
- (3) 県内外における災害時の福祉支援に向けて、富山県とともに「富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」会議を開催するとともに、災害派遣福祉チーム員（富山DWA T）の養成・登録や備品等の整備を図りました。
- (4) 民間企業や団体と災害支援や子ども支援、高齢者の生きがいと健康づくりの促進にかかる包括連携協定を締結し、地域福祉の推進を図る新たなネットワークを構築しました。
- (5) 福祉人材の確保・定着を図るため、福祉のお仕事フェアや介護福祉士等修学資金などの各種貸付事業の実施、中堅介護職員を応援するための表彰、福祉・介護職場の魅力を発信するテレビCMの制作・放送、介護職員募集案内冊子の作成・配布等を行いました。

【推進項目 1】

身近な地域（生活圏域）における総合相談体制の構築による包括的な支援の提供

住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、福祉・生活課題について住民自らが主体的に解決していくことが重要です。しかし、地域には経済的困窮や社会的孤立等を含め多様な課題が多くあり、住民だけでは解決できないものがあります。

また、課題を抱える家族は、高齢者から子ども・障がい者等様々な構成で成り立っていることもあり、家族全体を捉えながら、本人の自己決定を基本におき支援をすることが求められます。そこで、専門職と地域住民の連携とフォーマル、インフォーマルな社会資源の活用や開発を含めた包括的な支援や活動の推進に取り組みました。

1 住民のあらゆる福祉・生活課題に対応するための全世代・全対象型の相談体制の構築による包括的な支援の提供

(1) 小地域（日常生活圏域）における住民主体の助け合い活動の拡充

① 小地域福祉活動推進事業

ア 地域総合福祉活動（ふれあい型・ケアネット型・融合型）事業

旧小学校区等小地域をエリアとして行われる「ふれあいサロン」など福祉コミュニティ活動の振興と要支援者に対する見守りや生活支援活動への助成

15 市町村 266 地区で実施

イ 地域総合福祉活動ケアネットセンター運営事業

15 市町村社協に対してコーディネート業務費用等を助成

ウ 地域総合福祉活動ケアネット活動支援事業

ケアネット型事業を実施する社協及び地区に対する助言・支援、ケアネット活動の普及啓発事業等

- ・ ケアネット活動普及啓発事業（パンフレット 4,000 部を作成し、研修会・地区懇談会等で配付）
- ・ ケアネットアドバイザー派遣事業の実施
市町村社協及び地区社協で開催するケアネット活動に関する研修会への講師派遣等を行った。
- ・ ケアネット支援職員配置事業
- ・ ケアネット活動コーディネーター研修事業

（第 1 回）令和 2 年 8 月 26 日（水）

サンシップとやま 参加者：18 名

コロナ禍におけるケアネット活動等について

（第 2 回）令和 2 年 10 月 20 日（火）

サンシップとやま 参加者：17 名

チーム員の負担軽減策等に関する検討

（第 3 回）令和 3 年 2 月 12 日（金）

サンシップとやま 参加者：16 名

ケアネット活動コーディネーターの実践事例に関する相互検討

- ・ 富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会
令和3年3月5日（金） サンシップとやま
ケアネット活動推進のための今年度の実施状況評価及び今後の取組課題や効果的
実施方法等に関する協議を行った。
- ・ ケアネット活動リーダー研修会の開催
（砺波地区） 令和2年10月9日（金） 参加者：36名
（新川地区） 令和2年9月24日（木） 参加者：30名
講演「地域共生社会の実現に向けたケアネット活動の展開と今後の方向性」
講師 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏
事例学習 コロナ禍におけるケアネット活動について模擬事例を用いて検討

（2）地域における総合相談体制の構築

① 生活福祉資金(総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金)、臨時特例 つなぎ資金の貸付

- ア 資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより当該世帯の自立を支援した。
貸付決定実績（令和2年4月1日～令和3年3月31日）：299件、57,010,447円
- イ 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等のため、一時的または継続的に
収入が減少した世帯の資金需要に対応するため、緊急小口資金及び総合支援資金の
特例貸付を実施した。
貸付決定実績（令和2年4月1日～令和3年3月31日）：8,211件、2,592,765,000円
- ウ 円滑な事業運営を図ることを目的に生活福祉資金運営委員会を開催した。
第1回 令和2年5月28日（木）
第2回 令和2年10月21日（水）
第3回 令和3年2月26日（金）
- エ 滞納世帯に対する生活状況に応じた償還指導と不良債権の整理（職権免除を含む）
滞納世帯に対しては、世帯の生活状況に応じた相談支援や償還指導を行った。
また、生活福祉資金貸付金償還免除規程の償還免除適格要件に該当する長期滞留
債権については、運営委員会に諮り職権免除を行った。（免除債権数：14件）
- オ 市町村社協及び生活困窮者自立支援事業との連携・協働による事業推進
コロナ特例貸付の円滑な実施を目的に、市町村社協担当者を対象とした事務説明会を
実施した。 令和2年6月26日（金） サンシップとやま 参加者：16名
離職者・求職者等に対しては、自立相談支援機関と連携し、世帯の生活再建に必要な
相談支援を行いながら貸付を実施した。

② 東部生活自立支援センター運営事業

- 富山県魚津総合庁舎内に設置した「富山県東部生活自立支援センター」において、県東部
8市町村（魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町）を対象に
「自立相談支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施
- ア 新規相談受付件数：326件、支援プラン策定件数：48件、自立相談支援事業による就労支
援対象者数：47件
- イ 巡回相談及び出張相談の実施：毎月1回、8市町村社協において巡回相談を行うとともに
必要に応じて出張相談を実施した。

ウ 就労準備支援事業の一環として、模擬面接、履歴書作成支援、健康維持とひきこもり防止を目的にウォーキング等の軽運動の機会を提供した。

エ 富山県弁護士会との連携により毎月1回、法律相談を行うとともに、具体的な支援方法について助言をいただいた。

③ 包括的支援体制推進事業

市町村における包括的な支援体制の構築に向け、上市町をモデル市町村として選定し、地域の実情に応じた体制整備のポイントや課題等について行政・関係機関と合同で学ぶとともに、今後の展開について協議の場を持つことで、体制構築に向けた取組みの推進を図った。

ア 包括的支援体制づくりと地域福祉計画策定セミナーの開催

重層的支援体制整備事業の推進について共通理解を図るとともに、体制整備の際に要となる市町村地域福祉計画の策定について理解を深めるためのセミナーを開催した。

令和2年9月9日（水） 上市町保健福祉総合センター 参加者：38名

講義「地域共生社会の実現のための包括的支援体制づくりと地域福祉計画策定」

講師 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

イ 生活のしづらさを支える地域づくりシンポジウムの開催

包括的支援体制の構築に先駆的に取組む市町村の実践や課題等を共有するとともに、「生活のしづらさを支える地域づくり」の考え方や進め方を考察し、地域共生社会の実現に向けた各市町村における取組みを推進するためのシンポジウムを開催した。

令和3年2月18日（木） 上市町保健福祉総合センター 参加者：29名

基調講演「包括的支援体制と重層的支援づくりの考え方、進め方」

講師 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

パネルディスカッション

〈コーディネーター〉

富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

〈シンポジスト〉

氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏

黒部市社会福祉協議会 地域福祉課主幹 濱松 一美 氏

④ 地域ケア会議の手法とファシリテーター養成講座の開催

多様化、複雑化した事例に対し多職種による支援体制を構築するため、生活視点のアセスメントを中心とした事例検討の手法について学ぶ講座を開催した。

（上市会場）

令和3年1月15日（金） 上市町保健福祉総合センター 参加者：22名

講義「野中式事例検討の特徴と意義、構造を学ぶ」

講師 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山 憲一 氏

事例検討Ⅰ

事例提供者 上市町社会福祉協議会 福祉係長 島田 恵美子 氏

ファシリテーター 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山 憲一 氏

事例検討Ⅱ

事例提供者 魚津市社会福祉協議会 専門員 浦本 容子 氏

ファシリテーター 元半田市社会福祉協議会 小島 寛 氏

板書 上市町社会福祉協議会 主事 森 皐月 氏

アドバイザー 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山 憲一 氏
(高岡会場)

令和3年2月22日(月) 高岡市ふれあい福祉センター 参加者:15名

講義「野中式事例検討の特徴と意義、構造を学ぶ」

講師 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山 憲一 氏
事例検討

事例提供者 氷見市社会福祉協議会 セーフティネット専門員
西田 ひとみ 氏

ファシリテーター 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山 憲一 氏

(3) 市町村社協の基盤強化支援及び役職員の資質向上

① 市町村役職員研修会の開催

社会福祉協議会地域福祉実践研究発表会

地域共生社会の実現に向けた施策等が進められる中、県内の市町村社協それぞれの取り組みの成果・課題等を振り返り、共有することで、これからの社協の地域福祉実践に資するとともに、関係機関や行政等が社協の役割・機能に対する認識を深め、さらなる連携強化を図るための機会とした。

令和3年1月29日(金) パレブラン高志会館 参加者:75名

実践発表者 8市町村社協

コメンテーター 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

② 地域福祉推進担当者会議の開催

市町村社協の地域福祉担当者を対象に情勢報告や今後の活動方針について協議

令和2年5月15日(金) 文書

事業説明 令和2年度地域福祉関係事業説明

情報交換 新年度の新規・重点事業について

「社協・生活支援活動強化方針」行動強化の5本の柱に関する取組み等

③ 市町村社協職員研修・支援事業

市町村社会福祉協議会事務局次長研修会

令和2年7月31日(金) サンシップとやま 参加者:19名

講義「地域共生社会の実現に向けた社協活動と経営基盤の強化」

講師 社会福祉法人豊岡市社会福祉協議会 事務局長 田中 正義 氏

情報交換 経営基盤強化に向けた重点課題、財政健全化・経営安定化に向けた取組み等

④ 市町村社協巡回訪問支援

市町村社協を巡回訪問し、活動・組織強化に向けた課題集約や意見交換、情報提供・助言を行ったほか、「地域福祉活動計画」の改訂に取り組む市町村社協への職員派遣、各種研修会への講師派遣等を行った。

(4) 民生委員・児童委員との連携・協働

① 富山県民生委員児童委員協議会の活動支援

民生委員・児童委員研修

- ・ 新任民生委員・児童委員研修

(富山会場)

令和2年11月18日(水) 富山市芸術文化ホール 参加者：337名

(高岡砺波会場)

令和2年12月1日(火) 高周波文化ホール 参加者：311名

(新川会場)

令和2年12月2日(水) 新川文化ホール 参加者：160名

講義Ⅰ「富山県の福祉施策について」

講師 富山県厚生部厚生企画課

講義Ⅱ「地域共生社会づくりにおける民生委員・児童委員の役割
～たすけ上手、たすけられ上手に生きる～」

講師 富山県福祉カレッジ 客員教授

同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏

- ・ 主任児童委員・児童委員合同研修

令和2年12月15日(火) 富山県民会館 参加者：405名(主任児童委員206名、
児童委員199名)

行政説明「児童虐待防止対策について」

説明者 富山県厚生部子ども支援課

講義「子どもにやさしいまちづくり～子どもの権利条約が活かされるために～」

講師 真生会富山病院 心療内科部長 明橋 大二 氏

- ・ 市町村・地区民生委員児童委員会長研修

令和3年3月12日(金) 富山県民会館 参加者：271名

講義「令和時代の民生委員・児童委員活動」

講師 KT福祉研究所 代表 松藤 和生 氏

- ・ 心配ごと相談員・民生委員児童委員相談援助技術研修会

令和2年12月21日(月) 富山県市町村会館 参加者：49名

講義「相談面接における基礎知識」

講師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

② 民生委員・児童委員互助共励事業の実施

全国民生委員互助共励事業 40件、523,000円

(5) 福祉のまちづくり活動の推進

① 富山県民福祉推進会議の開催

令和2年9月10日(木) 文書 委員数：63名

内容：令和元年度事業報告、令和2年度事業計画、

福祉のまちづくり推進に関する取組報告・意見、福祉のまちづくり宣言

② やさしい福祉のまちづくり賞の表彰と普及・啓発

- ・ 第22回「やさしい福祉のまちづくり賞」表彰選考審査会の開催
令和2年10月2日（金） サンシップとやま
- ・ 福祉のまちづくり賞等の表彰（活動や取り組みの部門）まちづくり賞5点

③ 福祉フォーラムの開催

- ・ 第24回福祉フォーラムの開催
テーマ「みんなで支えよう！知ることヒトゴトがワガゴトに変わる!!」
令和2年11月14日（土） サンシップとやま 参加者：175人
パネラー とやま大地の会 ぴあサポーター 米谷 豊 氏
コミュニティハウスひとのま 代表 宮田 準 氏
氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏
コーディネーター 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

（6）福祉関係団体とのネットワーク構築

① 社会福祉施設・団体正副会長連絡会議の開催

県段階の福祉関係団体の正副会長及び理事を対象とし、社会福祉を取り巻く情勢等に関する会議を開催

令和2年9月10日（木） サンシップとやま

テーマ①「新型コロナウイルスに対する取り組みと見えてきた課題について」

②「県社協の事業及び県への予算に対する意見・要望等について」

参加者：22団体、23名

（7）各種福祉団体への支援・協力

① 各種福祉団体の事務局受託（5団体）

富山県保育連絡協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県デイサービスセンター協議会、富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県ホームヘルパー協議会への支援

② 在宅心身障害児通園訓練事業への助成

③ 福祉団体活動等への支援

（8）各種ニーズに対応した福祉総合相談体制の充実

① 高齢者総合相談センターの運営

高齢者及びその家族などが抱える生活・保健・福祉等に係る心配ごと、悩みごと等の各種相談に電話・来所・Eメール等により応じた。

一般相談（一般相談員）416件

専門相談（弁護士、税理士、社会保険労務士、保健師）187件

認知症ほっと電話相談（保健師・看護師）27件

総相談件数 630件

② 難病相談・支援センター事業

ア 難病患者等に対する個別相談（専門医による相談含む）

- ・相談支援業務 実人数 369名、延人数 1,403名
- ・専門医相談（神経難病・膠原病・炎症性腸疾患・リハビリ相談）5回 相談者：16名
- ・ピアサポーターによる相談 4回 相談者：延6名

イ 難病患者に対する就労支援

- ・就労支援者数 60名
- ・就労相談会（難病患者就職サポーター） 13回 18名

ウ 講演会、研修会等の開催（患者・家族・支援者等）

・講演会・研修会

令和2年9月5日(土) サンシップとやま 参加者：24名 「原発性胆汁性胆管炎」

講師 富山大学附属病院 消化器内科 特命教授 高原 照美 氏

令和2年10月3日(土) サンシップとやま 参加者：32名 「皮膚筋炎/多発性筋炎」

講師 富山県済生会高岡病院 内科リウマチ科 医長 奥村 麻衣子 氏

令和2年12月23日(水) サンシップとやま 参加者：15名

「難病患者支援者（保健師）研修会」

講師 富山大学附属病院 脳神経内科 外来医長 温井 孝昌 氏 他

・疾患別交流会

令和2年11月7日(土) 球脊髄性筋萎縮症 参加者：5名

令和2年12月23日(水) 下垂体機能低下症 参加者：4名

・ピアサポーター養成講座

令和2年12月19日(土) サンシップとやま 参加者：15名

「難病患者・家族の災害への備え」

講師 関西国際大学 保健医療学部看護学科 准教授 今福 恵子 氏

・難病患者等ホームヘルパー養成研修

令和3年2月4日(火) サンシップとやま 参加者：13名

「難病に関する基礎知識～神経難病の理解～」

講師 JCHO高岡ふしき病院 院長 高嶋 修太郎 氏

令和3年2月17日(水) サンシップとやま 参加者：13名

「コミュニケーション障害のある難病患者の支援」

講師 高志訪問看護ステーション訪問リハビリ科 科長 西田 勇人 氏

エ 厚生センター・保健所との連携・技術支援

・療養相談会講義

令和2年9月18日(金) 新川厚生センター魚津支所 参加者：8名

・初任期保健師等研修会助言

令和2年9月18日(金) 高岡厚生センター 参加者：12名

・難病支援事例検討会助言

令和2年10月20日(月) 中部厚生センター 参加者：10名

オ 難病患者の支援啓発事業

対象：医療・介護者を目指す学生 5回 計555名

カ 交流サロン&ミニセラピー（全3回） サンシップとやま 参加者：41名

講師 陶芸講師 前田 樹 氏 他

- キ ・「富山県難病相談・支援センターだより」の作成・配布
800部作成、関係機関及び全国の難病相談・支援センターに配布
- ・「災害準備パンフレット」の増刷・配布
10,000部作成、患者等に配布
- ケ 地域支援 講義：3回
- コ アドバイザー会議 7回

③ 若年性認知症相談・支援センター事業

- ア 若年性認知症の人・家族等に対する個別相談、就労支援
 - ・相談支援業務 実人数48名、延人数246名
- イ 支援者のための若年性認知症研修会の開催
 - ・令和2年8月6日（木） 新川文化ホール 参加者：24名
「認知症について」
講師 にかわ認知症疾患医療センター センター長 紋川 明和 氏
「若年性認知症の人への支援の実際」
講師 全国若年性認知症支援センター 室長 山口 喜樹 氏
- ウ 医療・介護・福祉・雇用関係者とのネットワーク会議開催
 - ・令和3年2月3日（水） サンシップとやま 出席者：33名
実践報告・意見交換「若年性認知症の人の交流の場について」
報告者 若年性認知症の本人と家族
助言者 富山福祉短期大学 学長 炭谷 靖子 氏
- エ 若年性認知症の本人と家族の交流会 サンシップとやま
 - ・令和2年7月4日（土） 参加者：11名
 - ・令和2年9月26日（土） 参加者：15名
 - ・令和2年11月21日（土） 参加者：12名
 - ・令和3年3月20日（土） 参加者：13名
- オ 啓発・支援 講義・講演：1回、ケア会議出席：2回、書面会議：3回
- カ 「富山県若年性認知症相談・支援センター活動だより」の発行
第3号 700部 関係機関へ配布
- キ 「若年性認知症企業向けパンフレット」の発行
部数 6,000部 関係機関へ配布

④ がん総合相談支援センター事業

- ア がん患者・家族等に対する個別相談、就労支援
 - ・相談総延べ人数：832名 うち再利用人数：719名（86.4%）
（面接相談人数：545名 電話相談人数：287名）
- イ がんピアサポーター養成講座
 - ・養成講座9回 受講者：12名 修了者：12名
 - 第1回 令和2年7月11日（土） ピアサポーターについて 参加者：12名
 - 第2回 令和2年8月1日（土） ピアサポートとは何か 参加者：11名
 - 第3回 令和2年9月12日（土） 模擬交流サロン 参加者：11名
 - 第4回 令和2年10月3日（土） 子宮がんに関する基礎知識、がん と就労 参加者：11名

- 第5回 令和2年11月7日(土) 肺がんの基礎知識、
化学療法と看護 参加者：11名
- 第6回 令和2年12月5日(土) ピアサポーターの
コミュニケーション技法 参加者：11名
- 第7回 令和3年1月9日(土) おなかのがんについて、
乳がん・乳がん術後の再建 参加者：3名
- 第8回 令和3年2月20日(土) がん患者さんへのサポート体制 参加者：12名
- 第9回 令和3年2月20日(土) がんピアサポート活動 参加者：12名

ウ がんピアサポート活動

- ・がん患者・家族等の交流サロン 毎月第4土曜日 開催11回 参加者延べ124名
- ・グリーンケアの会 5回 参加者延べ26名
- ・AYA世代の交流サロン 4回 参加者延べ29名
- ・県内がん診療連携拠点病院等でのピアサポート活動

黒部市民病院	0回	富山県立中央病院	2回	富山大学附属病院	2回
厚生連高岡病院	0回	市立砺波総合病院	1回	富山赤十字病院	4回
高岡市民病院	4回	富山市民病院	1回	済生会高岡病院	4回
富山労災病院	3回				計21回

- ・「がん教育」の講師

小学校(1校)、
県立大学看護学部がん教育出前授業
「ヘルスボランティア養成講座」「がん予防に関する研修会」
「職域がん対策出前セミナー」

} にピアサポーターを派遣

エ がんピアサポート活動支援

- ・がんピアサポーターフォローアップ研修会
 - 第1回 令和2年4月18日(土) 文書
がん総合相談支援センター事業、令和2年度がんピアサポート活動について
 - 第2回 令和2年7月4日(土) サンシップとやま 参加者：40名
講義「人生会議」
講師 くれよんクリニック 院長 桶口 史篤 氏
 - 第3回 令和2年11月7日(土) サンシップとやま 参加者：37名
講義「よりよいコミュニケーションのヒント ～がんピアサポーターとして～」
講師 市立砺波総合病院 臨床心理士 公認心理師 広田 千織 氏
 - 第4回 令和3年2月6日(土) サンシップとやま 参加者：24名
体験発表「がんピアサポート活動を通して得たこと」
講義「患者力とは」
講師 富山県立中央病院 がん看護専門看護師 時山 麻美 氏

オ 小児・AYA世代のがん講演会の開催

- ・令和2年10月17日(土) サンシップとやま 参加者：64名
- ・シンポジウム
テーマ「小児・AYA世代のがん患者と家族への支援の輪を広げよう」
コーディネーター 富山大学附属病院小児総合内科 診療教授 野村 恵子 氏

シンポジスト 富山赤十字病院総合内科部腫瘍内科 副部長 柴田 祥宏 氏
富山県立中央病院緩和ケアセンター部

ジェネラルマネージャー 中空 真由美 氏

AYA世代のがん体験者 樋口 麻衣子 氏

・講演「AYA世代がん患者のリアル」

講師 NPOがんノート 代表理事 岸田 徹 氏

・サポートブース 医療用ウィッグ、スキンケア用品紹介

カ がん診療連携拠点病院相談員との連携（情報交換会・研修会）

（情報交換会）

第1回 令和2年8月31日（月） 文書 参加者：32名

第2回 令和3年2月22日（月） オンライン 参加者：32名

（研修会）

第1回 令和2年11月28日（土） オンライン

講義「その方の気持ちを聴いて、受け止めることから始まる相談支援」

講師 国立がん研究センターがん対策情報センター 櫻井 雅代 氏

第2回 令和3年3月13日（土） オンライン

講義「がん相談対応評価の目的・意義・ルールを理解する」

「がん相談支援の質を考える～組織における品質管理と品質保証～」

講師 国立がん研究センターがん対策情報センター 高橋 朋子 氏

キ 情報提供：図書貸出 31冊 ホームページの更新

ク 地域支援 講義・講演：1回、会議出席：3回

2 制度の狭間に対応した新たなサービス・活動の開発

（1）地域の特性や本人の強みを活かした支援の推進

① コミュニティソーシャルワーク研修

ア 地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修

前期：令和2年10月28日（水）～29日（木）

後期：令和2年11月30日（月）～12月1日（火）

パレブラン高志会館 修了者：32名

講師 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

富山国際大学子ども育成学部 准教授 相山 馨 氏

イ コミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ研修

令和3年2月12日（金） サンシップとやま 参加者：16名

講師 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

養成研修修了者各自の実践事例を共有し、グループ討議と個人ワークを通して今後の課題や必要な取り組み等について検討し、講師から助言を仰いだ

② 市町村社協活動強化費助成事業

市町村地域福祉活動計画等の策定支援、市町村社協の総合力強化の取組み、地域生活課題解決に向けた資源開発等のための取組みへの支援

- ・地域福祉活動計画等策定事業 3 市社協（高岡市・砺波市・射水市）へ助成
- ・市町村社協総合力強化事業 2 市町村社協（黒部市・上市町）へ助成
- ・WEB会議システム導入環境整備事業 11 市町村社協へ助成

（２）地域における自立生活への支援

障害者が地域でより自立した生活ができるよう、「富山県工賃向上支援計画」に基づき、県内の障害者就労支援事業所で働く障害者の工賃水準の向上を図るための各事業所における具体的な取り組みの推進を支援

① 工賃向上支援研修の開催

管理者及び工賃引上げ推進員向け経営マネジメント研修

オンライン 令和2年10月7日（水） 参加者：19名 後日動画視聴：44名

企業との連携研修

オンライン 令和2年12月11日（金） 参加者：11名 後日動画視聴：17名

施設外就労研修

オンライン 令和3年1月21日（木） 参加者：12名 後日動画視聴：14名

新分野・技術指導研修

オンライン 令和3年2月5日（金） 参加者：10名 後日動画視聴：7名

自主製品創出研修

オンライン 令和3年3月4日（木） 参加者：11名 後日動画視聴：5名

② 共同事業の強化

共同事業ネットワーク構築事業（共同受注の窓口設置）

③ 「工賃引上げ計画」作成・実行サポートコンサルタント派遣事業

新規コンサルタント派遣を希望する事業所1か所

④ 専門技術者受入支援事業

事業所が希望する専門技術者の派遣費用を助成（5事業所）

⑤ 農福連携マッチング事業

農作業受委託における農業経営体と事業所とのマッチング等を実施する農福連携コーディネーターを配置

⑥ 農業経営体に係る農福連携ニーズ集約

農福連携に係る農業側のニーズを把握・集約し、マッチング支援のための基礎資料を作成

3 その人らしい生き方を支援する権利擁護の推進

(1) 身近な地域における権利擁護相談支援の推進

① 日常生活自立支援事業を全市町村で実施

相談件数：18,461件、契約締結件数：新規93件
実利用件数：520件(令和2年度末現在)

ア 契約締結審査会の開催

- ・ 第1回 令和2年5月1日(金)
- ・ 第2回 令和2年6月5日(金)
- ・ 第3回 令和2年7月10日(金)
- ・ 第4回 令和2年8月7日(金)
- ・ 第5回 令和2年9月4日(金)
- ・ 第6回 令和2年10月2日(金)
- ・ 第7回 令和2年11月6日(金)
- ・ 第8回 令和2年12月11日(金)
- ・ 第9回 令和3年1月15日(金)
- ・ 第10回 令和3年3月5日(金)
- ・ 審査案件30件、日常生活自立支援事業利用者の支援に関する助言、契約内容の報告、日常生活自立支援事業報告、運営適正化委員会からの指摘事項に関する対応報告など

イ 生活支援員研修の開催

- ・ 生活支援員基礎研修会の開催
令和2年8月4日(火) 富山県教育文化会館 参加者：23名
- ・ 生活支援員ステップアップ研修会の開催
令和3年2月16日(火) 富山県市町村会館 参加者：53名
講義 第1部「ストレスと上手に付き合う」
第2部「生活支援での上手な声のかけ方、話の聴き方」
講師 臨床心理士 高野 利明氏

ウ 新任専門員研修の開催

令和2年10月6日(火) サンシップとやま 参加者：11名
「日常生活自立支援事業における支援の視点」

エ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ パンフレットの配布
- ・ 富山県社会福祉士会 ぱあとなあ富山との共催により、「高齢者・障がい者の権利擁護のための出前講座」の開催(3か所)
- ・ 全市町村社協を訪問し、利用者の状況確認、預金通帳及び関係書類の確認、事業に関する問題点・課題について調査実施

【推進項目2】

住民が地域福祉活動に主体的に参加するための土壌づくり

地域住民の主体的な地域福祉活動への参加なくしては地域福祉の推進はないことから、住民の地域活動への参加を促すため、幼いころから福祉等へ触れ合う場を持ち、世代に応じた福祉教育を進め、生きがいを持って地域福祉活動に関われる土壌を作る必要があります。

そのために地域住民と共にボランティア活動や地域福祉活動を推進し、安心して暮らせる地域づくりに取り組みました。

1 地域住民の地域福祉活動やボランティア活動への参加促進

(1) ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援

① ボランティア活動拠点の整備

ア ボランティア交流サロンの使用状況（令和3年3月末現在）

利用団体数 577 団体、利用者数 2,050 名

イ ボランティアワークルームの利用状況

利用団体数 291 団体

② 市町村ボランティアセンター活動事業

地域課題、生活課題に対応する地域住民、ボランティアの先駆的、自主的な活動を促進するため、ボランティア活動の一層の振興を図り、市町村社協に助成した。

（ボランティア養成・研修事業、広報・啓発事業、災害救援ボランティア支援事業、調査・研究事業、ボランティアセンター運営事業 15市町村 6,509千円助成）

③ ボランティア活動養成研修事業の実施

ボランティアコーディネーター等養成研修

令和2年9月3日（火） サンシップとやま 参加者：25名

講義・ワーク

「ボランティア活動の特性」

「ボランティア活動の強み・弱み」

「『なぜ、ボランティア活動を続けるのか、やめてしまうのか』」

「ボランティアマネジメントの必要性と業務の流れ」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会

代表理事 唐木 理恵子 氏

④ ボランティアサポーター設置事業

15市町村社協248名の委嘱を行い、地区でのボランティア活動に関する相談や情報提供、市町村ボランティアセンターの活動等を支援

⑤ ボランティア活動コーディネーター設置事業

市町村ボランティア活動コーディネーターの設置助成（15市町村22名分）

⑥ 県ボランティアセンターの運営

・ 運営委員会の開催 年2回（10月、2月）

・ 関係会議及び県内外研修会等に参加及び講師出向（全国社会福祉協議会、ブロック社協職員会議、研修会、福祉関係学会、市町村社協の研修等、オンライン含む）

(2) 福祉のまちづくりの視点による市民活動団体等との連携・協働

① ボランティア活動の広報、啓発

ア ボランティア情報の提供

- ・ ボランティア情報誌の発行

県社協「福祉とやま」（奇数月に各11,000部発行）の中に、ボランティアグループ・NPO団体や助成金情報等関係の記事を掲載

配布先：市町村社協、市町村行政、県内福祉施設、小中高校、図書館・公民館等
教育施設等

- ・ マスコミ各社、関係機関等に毎週1回ボランティア情報を提供、県社協ホームページにボランティア情報等を掲載

イ ボランティアガイド作成・配布

ボランティア活動メニュー等を記載したハンドブックを作成・PDFデータを配布、県社協ホームページに掲載

② 「ボランティア活動強調月間事業」の実施協力

県内各市町村社協がボランティアフェスティバル等の開催

③ スキル活用社会貢献セミナー開催事業

スキル活用社会貢献セミナー

令和3年3月9日（火） ホテルグランテラス富山 参加者：30名

講義『社員が動けば地域が変わる、会社も変わる』

講師 日本NPOセンター常務理事 田尻 佳史 氏

活動発表

北陸ココ・コーラボトリング株式会社 総務人事統括部 グループ広報部
部長 桃野 弘毅 氏

株式会社品川グループ 代表取締役社長 品川 祐一郎 氏

④ ボランティアグループ活性化等発掘支援事業

ボランティアグループ、NPO団体の活動の立ち上がり支援並びに子育て支援活動のボランティア団体支援のための助成を行った。

設立後、間もないボランティアグループ 6団体 994千円助成

子育て支援活動のボランティアグループ 3団体 545千円助成

⑤ こども食堂等への食品提供・譲渡に関する合意書の締結

令和2年10月26日（月）

日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社（日本KFC）との間で、県内のこども食堂等へ日本KFC直営店舗における調理済みチキンを適切な管理の下、食材として提供支援することに関する合意書を締結した。

2 子どもから大人までの幅広い世代への福祉教育の推進

(1) 福祉教育・ボランティア学習の推進

① 福祉教育地域指定推進事業

学校と地域、市町村ボランティアセンター等が企画段階から協働し、地域の社会資源を活かした福祉教育・ボランティア体験学習を実施するため、13市町村社協（13か所）を指定

② 福祉教育サポーター養成確保事業

身近な地域（地元）で、多様な団体、学校、地域が協働で取り組めるよう「福祉教育」に取り組む「福祉教育サポーター」の養成確保事業を小矢部市社協、立山町社協で実施した。

③ 高校生介護等体験特別事業

県立富山いずみ高校と県立上市高校の2校の指定校において、介護体験、ボランティア活動等を行った。

④ 教員免許法の特例に基づく「介護等体験」支援事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、富山県内の施設等での受入れ調整を原則中止した。

⑤ 富山県福祉教育セミナーの開催

令和2年12月18日（金） サンシップとやま 参加者：51名

「福祉教育実践から学ぶ～地域（地元）で福祉教育を推進するための取組み～」

活動報告

・『違った個性があっていい 地域で共に～車椅子バスケット交流会の活動を通して障がい者理解の優しいまちづくりを～』

加積地区社会福祉協議会 会長 高島 優子 氏

・『多様性を尊重できる青少年育成事業の活動報告』

公益社団法人となみ青年会議所青少年育成委員会 委員長 溝口 健吾 氏

基調講演「共生文化を創造し享受する福祉教育」

講師 日本社会事業大学 教授 田村 真広 氏

3 住民と専門職等との協働による地域福祉活動の推進

(1) ケアネット活動による住民と専門職との協働による個別支援と地域支援の推進

① 市町村社協のケアネット活動展開時における専門職等との連携強化の推進

(2) 地域における住民と専門職の連携による活動の展開支援

(3) 地区社協の強化を目指した市町村社協への支援

① 市町村社協地域福祉活動計画策定時における地域住民と専門職の連携を図る地区社協強化への支援

4 高齢者の社会参加と地域福祉活動への支援

(1) 高齢者の生きがいがづくりの推進

① 「健康と長寿の祭典」開催事業

大会長表彰、いきいき長寿者顕彰を実施（式典、講演、展示等は中止）

② 「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」参加事業

県内予選会の開催（6種目、合計976名参加）（岐阜大会、ねんりん美術展は中止）

③ 情報誌（V I T A）発行事業

中高年向け情報誌「V I T A（ビタ）」の発行（年4回、各1,800部）

④ いきいき長寿大学開催事業

ア すこやか活動講座（富山会場81名、高岡会場72名、合計153名参加）

令和2年9月～12月 各会場4回 合計8回

内容：社会情勢、人生の処方箋、気象と災害、スマホ・ケータイの使い方

イ いきいき脳トレリーダー養成講座（専門的実践講座）

令和2年8月～12月 南砺市福野地域 7回コース 28名参加、うち27名修了

内容：脳トレトレーニングの問題づくり、体験活動の進め方、レクリエーション、

ふれあい・いきいきサロンでの体験実習、「なんと脳トレクラブ」設立

ウ 脳トレ問題集の発行（県内11脳トレクラブから問題提供、4回、計30,900部）

エ 脳トレクラブへの活動支援（11クラブ年間活動件数364件、延体験者4,930名）

ウエルカフェでの脳トレ体験会の実施（10クラブで15か所、162名が参加）

⑤ 高齢者の生きがいと健康づくり促進事業等に関する包括連携協定の締結

令和2年12月15日（火）

第一生命保険株式会社との間で、「高齢者の生きがいと健康づくり促進事業」「被災地における災害福祉活動に対する支援」に関する包括連携協定を締結した。

⑥ いきいき友の会事業の運営

会員数（令和3年3月末現在） 個人4,516名、法人・団体34

ア 個人会員サービス提供事業

ア) 情報誌発行事業

情報誌「V I T A」の発行（年4回、計18,500部を会員に送付）

別冊イベントニュースの発行（年4回、計18,500部を会員に送付）

イ) サービスカード発行事業

会員証による割引サービスの実施（協力店122店舗、一覧を7,000部発行）

ウ) 催事割引事業

コンサート等のチケット割引サービス（11公演、588名利用）

エ) V I T A旅行会開催事業

4企画を催行、53名参加

オ) 会員交流会事業

脳トレサロン（脳トレクラブによる運営 サンシップとやま 8回 延168名参加）

自然観察会3回（滑川11名、呉羽14名、魚津12名）、コーヒー教室7名参加

美術鑑賞講座2回、43名参加

パソコン教室（年賀状）2回、31名、大河ドラマ基礎講座23名参加

- カ) 生きがいづくり普及推進員事業(会員による自主企画事業)
 - 委員 11 名 (うち新規 2 名)、意見交換会 1 回
 - 認知症予防教室 43 名、ミニ門松づくり 33 名
- イ 法人会員サービス提供事業
 - 34 法人等に対し、年会費相当分の個人会員と同様の特典を付与。
 - 情報誌「V I T A」に企業名を掲載
- ウ 会員組織の強化
 - 既存 V I T A クラブ 29 の支援 (クラブ一覧の発行、活動助成金の交付)
 - クラブ主催の新規会員体験講座の開催 (3 クラブ、31 名参加)

(2) 高齢者の社会参加活動の促進

① シニアタレント社会活動事業

- ア 養成研修会の開催
 - 令和 3 年 2 月 12 日(金) サンシップとやま 38 名参加 (うち新規 13 名)
- イ 登録及び紹介
 - シニアタレント 245 名 (語り部含む)、シニアタレントグループ 53
- ウ シニアタレント・語り部バンクニュースの発行 (年 4 回、計 18,500 部)
- エ 連絡協議会の開催 (委員 9 名、9 回)
- オ 世代間交流会 (講師・出演:シニアタレント) への助成 3 件

② 元気高齢者の仲間づくり支援事業

- ア サークルの登録及び支援
 - 元気高齢者サークル 23、ねんりん健康運動推進クラブ 33、合計 56
- イ 情報提供及び相談業務 (相談員 1 名配置、相談件数 108 件)
- ウ 県内のシニアサークルの紹介
 - ホームページに 600 サークルを掲載、サークル一覧の発行 (年 4 回、計 18,500 部)
- エ 体験教室及び世代間交流会の開催 (ラージボール卓球等 4 種目、211 名参加)

③ エイジレス社会活動推進事業

- 先進的な取り組みの顕彰
 - 他の参考、模範となる取り組み事例を顕彰し、社会活動への意識の高揚と啓発を図った。

【推進項目3】

災害時に対応できる地域づくりの推進

近年、頻繁に起きる災害に対して、地域福祉の観点からどのように住民を支援していくかが、大きな課題です。災害が起きても地域で支援する力が発揮できる安心した地域づくりが必要になります。

地域住民の主体性を大切にし、行政・社協・民間（多様な団体）・企業が連携を取りながら、日常的なつながりを生かした災害時にも強い地域づくりに努めました。

1 日常的なつながりを基盤とした要援護者への支援体制の充実

（1）災害時の要援護者支援・福祉救援の取り組みの充実

県民に幅広く、災害救援ボランティア活動の普及を図るため講演会及び登録ボランティアコーディネーター・リーダーの県防災訓練への参加を実施

① 災害救援ボランティア訓練事業

災害救援ボランティア講演会

令和2年12月4日（金） サンシップとやま 参加者：83名

基調講演「コロナ禍の災害支援から見えてきたこと～問われる地域のレジリエンス～」

講師 日本福祉大学 教授 山本 克彦 氏

シンポジスト

高岡市社会福祉協議会 千葉 隆史 氏

NPO法人明日育 常務理事・事務局長 長井 一弘 氏

コーディネーター

富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 課長 水井 勤

アドバイザー

日本福祉大学 教授 山本 克彦 氏

（2）災害時のボランティア活動の展開支援

① 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会の開催及び登録

第1回 令和2年9月26日（土） サンシップとやま 参加者：40名

講義・ワーク「災害支援の全体像と被災者ニーズ」

講義・ワーク「災害ボランティアセンターの概要」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

第2回 令和2年10月24日（土） サンシップとやま 参加者：39名

講義・ワーク「災害ボランティアセンターの演習」

講義・ワーク「要援護者の課題・対策と日常の福祉活動」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

第3回 令和2年11月6日（金） サンシップとやま 参加者：14名

講義・ワーク

講師 富山県社会福祉協議会

※令和3年3月末現在、258名の災害救援ボランティアコーディネーター・リーダーが登録

2 災害時における福祉施設、専門職団体等との連携・協働支援体制の構築

(1) 専門職等関係機関・団体との連携・協働

① 市町村社協災害ネットワーク推進事業

災害時における県社協と県内社協の緊急連絡網及びメールによる緊急通報システムを整備

② 災害福祉広域支援事業

富山県内外における災害時の福祉広域支援ネットワークの連携を図り、「富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」の開催と、災害派遣福祉チーム員（富山DWA T）の養成及び登録を行った。

また、富山DWA Tの派遣のための備品等を整備した。

- ・「富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」の開催

令和3年1月20日（水） サンシップとやま 出席者：27名

- ・「富山DWA T発足式」の開催

令和3年1月20日（水） サンシップとやま 出席者：26名

（富山DWA T8名、ネットワーク協議会18名）

- ・災害派遣福祉チーム員養成研修及び登録

【基礎研修】

- ・富山会場 令和2年9月14日（月） 富山県市町村会館

受講者：58名 講義 ネットワーク協議会の組織化と災害時のDWA Tの活動内容について

- ・高岡会場 令和2年9月16日（水） 高岡文化ホール

受講者：49名 講義 同上

【実地研修】

- ・富山会場 令和2年12月3日（木） 富山テクノホール

受講者：51名 講義及びグループワーク

一般避難所の状況と災害時要配慮者への支援内容について

- ・高岡会場 令和2年12月10日（木） 高岡市生涯学習センター

受講者：38名 講義及びグループワーク 同上

【登録者】上記研修受講修了者89名を富山DWA Tとして登録

- ・災害派遣福祉チーム員派遣時の準備品等の整備

- ・富山DWA Tの周知のため、広報誌「福祉とやま」令和3年3月号への掲載を行った。

- ・全社協 災害派遣福祉チームリーダー養成等研修への参加。

動画配信による研修に富山DWA T登録者等から9名、県社協4名が参加。

③ 災害時における福祉・ボランティア活動支援に関する相互連携協定の締結

令和2年10月8日（木）

ライオンズクラブ国際協会334-D地区との間で、被災地での福祉活動等への人的・物的支援に関する相互連携協定を締結した。

【推進項目4】

地域ニーズへの対応力向上と効果的・効率的なサービス提供に向けた経営支援

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人は地域福祉推進の重要な拠点として、福祉ニーズに対応する機能をより一層発揮することが求められています。

質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供できる体制等を整備するため、各法人が自主的に行っている法人経営上の取り組みに対し、必要な事項等について助言、指導を行いました。

1 福祉施設・事業所の経営マネジメント力向上への支援

(1) 社会福祉法人等の自立的経営と経営基盤の強化

① 福祉施設経営指導の推進

ア 社会福祉施設経営相談（相談件数 137 件）

社会福祉施設経営相談室に専任及び兼任経営相談員 2 名、専門経営指導員（公認会計士、社会保険労務士、弁護士）3 名を配置し、施設経営に対する指導・助言を実施

イ 「施設経営情報」の発行等による情報提供

ウ 福祉施設経営指導事業連絡協議会の開催

（構成者：県厚生部 5 課、富山市福祉保健部、県経営協役員、経営指導員等）

令和 3 年 3 月 9 日（火） サンシップとやま

協議事項・最近の福祉施策の動き

- ・令和 2 年度指導監査実施状況について
- ・令和 2 年度社会福祉施設経営指導事業の状況について
- ・意見交換

エ 富山県社会福祉法人経営者協議会との連携による労務管理、経理事務、法律問題等に関する研修機会の提供及び集団指導の実施

・社会福祉法人労務管理研修

令和 2 年 10 月 29 日（木） サンシップとやま 参加者：59 名

講義 ①「職場でのハラスメント予防と解決に向けて」

②「人事労務のトラブルと回避について」

講師 梅原社会保険労務士事務所

社会保険労務士 梅原 修一 氏（専門経営指導員）

・社会福祉法人経理事務研修

令和 2 年 12 月 8 日（火） 富山県市町村会館 参加者：71 名

講義 「会計基準の概要・会計処理の留意事項等」

講師 日本クレアス経営税理士法人富山本部

日本クレアスコンサルティング株式会社 代表取締役社長

公認会計士・税理士 中村 厚 氏（専門経営指導員）

・社会福祉法人法律問題研修

令和 3 年 2 月 25 日（木） 富山県市町村会館 参加者：29 名

講義 「社会福祉法人の指導監査ガイドライン」について

（定款・評議員・評議員会・理事・監事・理事会の関係）

講師 大坪法律事務所 弁護士 大坪 健 氏（専門経営指導員）

(2) 富山県福祉施設支援資金の貸付及び償還管理

貸付審査会の開催 (4回)

貸付件数 : 5件

貸付額 : 55,280千円(令和2年度末貸付実績 34件、276,190千円)

2 福祉・介護機器の導入・活用支援

(1) ICT及び福祉・介護機器の活用支援

福祉施設・事業所が、質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供することを支援するため、ICTや介護ロボット等を含む福祉・介護機器の導入・活用に関する情報提供を行う。

① 移乗支援機器活用推進研修会の開催

令和2年11月21日(土) サンシップとやま 参加者 : 14名

講師 地域リハビリ支援室・タムラ 代表 田村 茂氏

② 介護ロボット活用推進研修

令和2年12月7日(月) サンシップとやま 参加者 : 13名

講師 NTTデータ経営研究所 足立 圭司氏

【推進項目5】

福祉人材の確保・定着、育成

福祉・介護ニーズに対応する福祉人材について、質・量の両面での確保・定着、さらには育成が重要となっています。福祉施設や専門職団体・養成施設などと連携・協働のうえ、福祉人材の育成に効果的な研修事業を実施したほか、キャリアパスの構築、福祉・介護機器の活用による福祉職場の活性化や働きがいのある福祉職場づくりなど、その魅力を広く発信するための取り組みなどを行いました。

1 福祉職場の魅力の発信と、新たな分野での福祉人材の掘り起し

1 福祉人材確保・定着の推進

(1) 福祉の人材確保・マッチング支援の強化と人材定着を支援する取り組みの推進

① 福祉人材無料職業紹介事業の充実（保育分野を含む全体数）

ア 全社協・中央福祉人材センターとともに運営・管理を行う「福祉人材情報システム」（COOLシステム）及びホームページ「福祉のお仕事」を活用した求人・求職登録の促進と福祉の職場・資格、労働市場の動向等に関する情報の提供（保育分野を含む）

- ・相談件数 3,198 件（前年度末 3,111 件）、内訳：求人 1,453 件、求職 1,745 件
- ・登録求人件数 2,423 件（前年度末 2,650 件）
- ・登録求人数 4,909 人（前年度末 5,293 人）
- ・登録求職者数 756 人（前年度末 761 人）、内訳：一般 469 人、学生 287 人
- ・職場見学者数 126 人（前年度末 139 人）
- ・職場体験者数 11 人（前年度末 18 人）
- ・職場体験受入事業所数 276 か所（前年度 228 か所）
- ・紹介者数 183 人（前年度末 162 人）
- ・採用者数 170 人（前年度末 155 人）、内訳：一般 79 人、学生 91 人

イ 職業訓練受講者へ求職登録の働きかけ

- ・105 名、内訳：初任者研修 3 回 38 名、実務者研修 2 回 41 名、入門的研修 2 回 26 名

ウ 既存の広報媒体を利用した啓発・案内

- ・「福祉とやま」による事業内容や行事等の記事の掲載（6 回）
- ・県社協及び「福祉のお仕事」ホームページによる事業所一覧、行事等の情報を掲載
- ・COOLシステム 求職者マイページによる行事等の案内をメール配信
- ・市町村広報誌への掲載（ハローワーク出張相談実施日）7 市
（魚津市、氷見市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市）

エ 離職介護人材・保育士届出制度の活用推進

離職した介護人材や保育士の当センターへの届出を広く周知し、再就職準備金の活用等を通じて就職を支援

ポスター、リーフレットの配布、「福祉とやま」への掲載等

令和 2 年度届出 91 人・92 件：介護届出 85 件、保育届出 7 件

（令和 3 年 3 月末 登録届出者 607 人・609 件：介護届出 224 件、保育届出 385 件）

② 啓発・広報活動の強化

利用促進用リーフレットの配布（求職者・学生、ハローワーク等）

③ 社会福祉事業従事希望者講習会事業

福祉の仕事を目指す求職者や事業所職員等を対象に福祉の仕事セミナーを開催し、社会福祉の動向や福祉の仕事について理解を深める機会を提供

- ・福祉の仕事セミナー～見て！聞いて！福祉の現場の魅力！～

令和2年11月6日（金） サンシップとやま 参加者：11名

内容 はじめに「福祉の職場があなたを待っています！」

講師 株式会社ガーデン

認知症対応型共同生活介護イエローガーデン小矢部

管理者・介護支援専門員 岩田 美保子 氏

福祉のお仕事・魅力紹介

福祉施設職員、2法人から3名

グループトーク「福祉の仕事のこと、何でも聞いてみよう！」

～福祉施設職員を囲んで～

アドバイザー 福祉施設職員、2法人から3名

④ 福祉人材確保緊急プロジェクトの推進

ア 福祉職場説明会の開催（3回）

求人事業所と求職者が一堂に会し、様々な施設の経営状況・仕事内容・待遇等を直接確認できる機会の提供

- ・第1回 福祉のお仕事フェア in TOYAMA【児童・保育】

令和2年7月26日（日） 富山国際会議場 参加者：141名 参加法人：48法人

- ・第2回 福祉のお仕事フェア in TOYAMA【福祉・介護】

令和2年9月19日（土）、20日（日） 富山国際会議場 参加者：86名

参加法人：97法人

- ・第3回 令和2年11月24日（水） 砺波農村環境改善センター 参加者：34名

参加法人：6法人

（ハローワーク砺波との合同開催）

イ 富山の介護職員募集案内冊子作成・配布事業

県内介護施設等の求人情報を掲載した冊子を作成、ハローワーク・書店等で配布

掲載募集対象：介護職員処遇改善加算届出法人 558法人

掲載法人：記事広告 51法人、純広告 1法人

作成部数：2,000部

ウ 新任介護職員ネットワーク形成支援事業

離職率が高い就業後1～3年未満の新任介護職員を継続的にフォローすることにより、新任職員の早期離職防止・職場定着を図った。

- i) 元気とやま 福祉・介護職令和2年度入職者合同激励会

（4月に開催予定だった合同入職式に替え9月に開催）

令和2年9月4日（金） サンシップとやま

出席者 47名（内訳：入職者 33名、県福祉人材確保対策会議委員 14名）

内容 激励のことば（富山県知事）、“初心”表明

講演「介護の仕事の価値と可能性」

講師 介護ラボしゅう 代表／

NPO法人U b d o b e 理事 中浜 崇之 氏

ii) 介護職員フォローアップ研修

- ・介護技術編 8～11月、3会場、各1回、参加者合計 60名
講師 富山県介護福祉士会 会長 舟田 伸司 氏
- ・ストレスマネジメント編 8～11月、3会場、各1回、参加者合計 29名
講師 臨床心理士 高野 利明 氏

エ 福祉・介護人材マッチング強化事業

キャリア支援専門員による相談体制と仲介業務の強化

- ・同専門員を2名配置（介護福祉士）
- ・ハローワーク等との連携事業
「福祉の仕事 相談コーナー」の開設（月1～2回）
ハローワーク6か所合計100回、相談合計128件（前年度末110件）
（高岡54、魚津19、砺波29、氷見13、滑川8、小矢部5）
「介護の仕事 就職支援セミナー」の実施（ハローワークと共催）
ハローワーク4か所合計34回、参加者合計162名（前年度末304名）
（高岡10回31名、魚津8回43名、砺波8回59名、滑川8回29名）
- ・はじめての福祉の仕事サロン（福祉就労オリエンテーション）の実施
福祉職場の未経験者を対象に、少人数制のグループトークの実施
毎月第4木曜日7回（11月は福祉の仕事セミナーとして開催）
サンシップとやま 参加者合計24名（前年度末22名）
講師 株式会社ガーデン 認知症対応型共同生活介護イエローガーデン
管理者・介護支援専門員 岩田 美保子 氏
- ・北陸就活オンラインセミナー（日本福祉大学主催）
令和2年11月8日（日） オンライン 参加者 学生8名
- ・福祉・介護業界就職セミナー（株式会社マイナビ主催）
令和3年3月8日（月） 石川県産業展示館 相談ブース 相談1件
- ・求人・求職者情報の提供
登録求職者向けに求人情報誌を毎月送付（12回、986部発行）
Eメール、ホームページを利用した事業所向けのスカウトサービス（保育以外）
指名件数16件、指名人数20人

⑤ 調査研究事業

ア 県内民間社会福祉事業所の人材不足の現状等を把握し、人材需給に対処する基礎資料とするアンケート調査の実施

11月、1,675事業所対象、回答929か所、回答率55.5%

内容：職員数、保有資格数、入職者数、離職者数、離職理由、必要人数、必要理由、職場環境、キャリアアップ、人材確保の問題点など

イ 富山県出身学生在学者調査を実施し、求職登録のあった学生に求人情報を提供

調査対象：東海・北陸・新潟・長野県ほか合計225校、在学者151人、登録者47人

ウ 富山県内学生調査

調査対象：県内養成7校、登録者233人

⑥ 保育士・保育所支援センター開設事業

共働き世帯の増加や育児休暇の定着により、人手のかかる 0～2 歳児の途中入所が増え、保育所の求人ニーズが高まっているため、有資格の未就業者の職場復帰や現役保育士の職場の定着を支援するためのセンターを開設し、相談や就職あっせん等を実施

ア センターの運営と啓発

i) 専門相談員の配置

- ・再就職支援コーディネーター1名（保育士）

ii) 啓発

- ・業務案内リーフレットの作成 4,500 部（保育所、ハローワーク等に送付）
- ・ポスターの作成 300 部（子育て支援センター、小児科医院、大規模店舗、郵便局等に送付）

イ 相談業務と就職あっせん

- ・求職相談件数 1,086 件

内訳：現役 270、潜在 603、学生 113、看護師 33、無資格者等 67

- ・求人相談件数 1,452 件

内訳：求人 120、採用活動 337、応募者 150、雇用条件 691、職場説明会等 105、スカウト 13、制度 30、職員養成 6

- ・事業所登録数 119 か所、内訳：市町村 10、民間 109

- ・登録求人件数 1,107 件、登録求人数 2,124 人

- ・登録求職者数 279 人

内訳：現役 24 人、潜在 68 人、学生 175 人、該当資格無 8 人
看護師 4 人

- ・スカウトサービス 指名件数 6 件、指名人数 8 人

- ・職場見学者数 91 人、職場体験者数 4 人

- ・紹介者数 128 人

- ・採用者数 125 人 内訳：現役 10 人、潜在 50 人、学生 61 人、無資格者 2 人、看護師 2 人

ウ 再就職支援研修会

i) 保育所（園）・認定こども園等における雇用管理と人材育成・定着セミナー

令和 2 年 10 月 22 日（木）・23 日（金） サンシップとやま

参加者：理事長・園長 10/22 21 名、10/23 20 名

1 日目 講義「保育所（園）・認定こども園等における雇用管理のポイント」

2 日目 講義「人材育成・定着のポイント」

講師 ワールドワイド 代表取締役 池田 東史雄 氏

ii) 保育士就職支援研修会

令和 3 年 3 月 4 日（木） サンシップとやま

講義「ストレスマネジメント」 講師 富山短期大学 准教授 嶋野 珠生 氏

実技「おしゃべり動物絵本作り」 講師 射水市大島絵本館 指導員 高田 未来 氏

参加者：一般 10 名、学生 1 名

エ 職場説明会

福祉のお仕事フェア in TOYAMA【児童・保育】（再掲）

令和 2 年 7 月 26 日（日） 富山国際会議場

参加者：141 名 参加法人：48 法人

(2) 就労支援ネットワークづくり

① 人材確保相談事業

他機関の実施する職場説明会において、福祉職場・資格取得等に関する相談に応じたほか、養成施設・事業所等への訪問・相談等の実施

介護の職場就職説明会

富山市主催 3回 相談 7件、ハローワーク砺波主催 1回 相談 2件

訪問 7か所（内訳：職業訓練校 7、事業所訪問は見合わせ）

② 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取り組み

福祉人材確保対策会議の開催

福祉・労働関係の機関・団体と連携して現状の分析を行うとともに、より効果的な方策を協議

ア 会議（1回）

・第1回 令和3年2月22日（月） 富山県民会館 参加委員：19名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「構成団体・市町村における取り組み等について」

イ ワーキンググループ（3回）

・第1回 令和2年10月8日（木） 富山県民会館 参加委員：23名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「構成団体・市町村における取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査の報告について」

・第2回 外国人介護人材マッチング等支援ワーキンググループ

令和2年12月25日（金） 富山県民会館 参加委員：18名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「構成団体・市町村における取り組み等について」

・第3回 令和3年3月24日（水） 富山県民会館 参加委員：20名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「構成団体・市町村における取り組み等について」

③ 介護福祉士等修学資金貸付事業

介護福祉士等養成施設に在学する学生を修学資金の貸付けにより支援し、また、介護業務に再就職する人を離職介護人材再就職準備金の貸付けにより支援

ア 介護福祉士または社会福祉士養成施設などの入学者（従来枠）及び介護福祉士実務者養成施設の在学者（実務者研修枠）

i) 募集 養成施設に募集要項の送付

ii) 審査会 令和2年6月24日（水） サンシップとやま 参加委員：4名

書面審査 令和2年11月 高校3年生の内定制度（令和3年度入学生）

iii) 貸付実績

（従来枠）

新規申請・決定・貸付 40件、継続貸与中 45件 71,019,000円

（実務者研修枠）

申請・決定・貸付 9件 1,722,724円

iv) 高校3年生の内定制度（令和3年度入学生）

申請：15件、内定：13件

イ 介護業務に再就職する者

- i) 募集 求職登録者、介護事業所に案内チラシ等を送付
- ii) 貸付実績

申請・決定・貸付：14件 5,600,000円

④ 保育支援貸付事業

ア 保育士修学資金貸与

- i) 募集 養成施設・県内高等学校等に募集要項の送付
- ii) 審査会 令和2年6月23日(火) サンシップとやま 参加委員4名
書面審査 令和2年11月 高校3年生の内定制度(令和3年度入学生)
- iii) 貸付実績

申請：18件、決定16件、継続貸与中15件 21,938,200円

iv) 高校3年生の内定制度(令和3年度入学生)

申請：9件、貸与決定：5件

イ 保育補助者雇上費貸与

- i) 募集 保育事業所に案内チラシ等を送付
- ii) 貸付実績

新規申請・決定・貸与：1件、継続貸与中：4件 3,275,930円

ウ 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸与

- i) 募集 求職登録者、保育事業所、ハローワーク等関係機関に案内チラシ等を送付
- ii) 貸付実績

新規申請・決定・貸付：6件 629,800円

エ 潜在保育士就職準備金貸与

- i) 募集 求職登録者、保育事業所、ハローワーク等関係機関に案内チラシ等を送付
- ii) 貸付実績

新規申請・決定・貸付：25件 5,000,000円

⑤ 児童養護施設退所者等貸付事業

就職者等への家賃貸付、進学者への家賃・生活費貸付、資格取得希望者への資格取得貸付

- i) 募集 児童養護施設等に案内チラシ等を送付
- ii) 貸付実績

・生活支援費貸与

新規申請・決定・貸付：0名、継続貸与中：1名 600,000円

・家賃支援費貸与

新規申請・決定・貸付：0名、継続貸与中：1名 396,000円

・資格取得支援費貸与

新規申請・決定・貸付：0名

(3) 福祉・介護職場のイメージアップ

① 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取り組み

ア 高校生等の福祉の魅力体験バス教室

高校生、進路指導担当教員に対し、職場体験を通じて福祉職場の魅力ややりがいを理解し、進路の選択に活かしていく機会を提供。

内容 施設見学、仕事体験、職員の話、利用者との交流等

- ・富山会場① 令和2年8月18日(火) 富山市周辺の特養2か所 15名
- ・高岡会場① 令和2年8月19日(水) 高岡市周辺の特養4か所 36名
- ・新川会場 令和2年8月20日(木) 魚津市周辺の特養1か所 6名
- ・高岡会場② 令和3年3月23日(火) 高岡市周辺の特養1か所 1名
- ・富山会場② 令和3年3月25日(木) 富山市周辺の特養1か所 5名
- ・合計 63名
- ・参加者進路先調査 (3年生33名中 福祉・医療分野への進学及び就職者は30名)

イ 親子夏休み福祉の仕事バス教室

小学生とその保護者を対象に、福祉施設での仕事の体験を通じて、施設で働く人や仕事について理解を深めた(高齢者との交流は中止)。

内容 施設見学、福祉用具体験、介護職の試食、レクリエーション、働く人の話等

- ・東部会場 令和2年8月11日(火) 特養1か所 8名
- ・西部会場 令和2年8月10日(月) 特養1か所 17名
- ・合計 25名

ウ 中学・高校への介護の出前講座

中学・高校生が、講義や実習、体験等を通して介護職の役割や仕事の内容など、福祉・介護の仕事について理解を深め、その魅力について分かりやすく、楽しく学ぶ機会を提供。

i) 総合受付窓口の設置

- ・小学生学習体験の受付3校(ただし体験は見合わせ)
- ・中学、高校生への出前講座の受付、調整

ii) 出前講座

- ・中学校への出前講座(県社協から富山県介護福祉士会に委託)
6~12月 延べ9校 676名受講
- ・高校への出前講座(県社協から介護福祉士養成校に委託)
7~3月 延べ11校 371名受講

エ がんばる介護職員応援事業

i) がんばる介護職員の表彰(通称:介護のがんばりすと2020)

福祉・介護の現場で元気にがんばっている職員を掘り起こして、表彰・紹介することにより、職員のモチベーションの向上と、介護の仕事に対するマイナスイメージの払拭、社会的評価の向上を推進

- ・対象 勤続5年以上10年未満、新人の指導役、介護福祉士、所定の研修修了者
- ・推薦 17事業所から17名あり(807法人、2,173か所へ依頼)
- ・選考委員会 令和2年8月25日(火) サンシップとやま 参加委員:5名
- ・表彰式 令和2年11月7日(土) 富山県民会館

「介護川柳募集事業表彰式」(富山県ホームヘルパー協議会)と合同開催

- ・記念講演「ぶれない私、ぶれない介護」

講師 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 田中雅子 教授

ii) 経験談を新聞紙面に掲載

期日 令和2年11月11日(水)、北日本2頁、読売・富山全5段

内容 介護のがんばりすと2020の手記、利用者からのコメント、介護川柳

iii) 啓発用小冊子の作成・配布

新聞紙面を再構成した小冊子を県内の全高校1年生9,431名に配付
作成部数：22,000部（令和3年度高校1年生分含む）

iv) イメージアップ・テレビCMの制作

ホームヘルパーの日編（8/4～10 7日間）、民放3局、15秒、165本
介護の日編（11/5～11 7日間）、民放3局、15秒、165本
放映終了後もウェブサイトで公開

v) 学生や若手職員へのPR活動支援（介護のがんばりすと）

テレビCM出演、他分野からの転職者への助言、合同入職式でのメッセージ等

オ 介護の日の啓発活動

介護を身近なものとしてとらえ、それぞれの立場で考えていくため、関係機関・団体等が連携して開催するイベント「介護の日フェスティバル」の企画に協力

- ・実行委員会への参加 1回（構成：事業所団体、職能団体、養成校、行政など）
- ・イベントは中止

② 福祉・介護職場の魅力発信事業

マスメディア等を活用して福祉・介護職場の魅力を広く発信するため、取材福祉施設の選定を行った。

- ・KNBアトラクション「ジョブキッズとやま2020」への出展施設の紹介
- ・ラジオ「でるラジ」への出演者の紹介
- ・ラジオ「とれたてワイド朝生」への出演者の紹介

（4）委員会等の開催

運営委員会（1回）

令和3年1月28日（木） サンシップとやま

2 研修実施や資格取得の促進を通じたキャリアパスの構築

（1）委員会等の開催

- ① 富山県福祉カレッジ研修カリキュラム検討分科会 令和3年1月15日（金）
- ② 富山県介護機器普及事業運営分科会 令和3年1月20日（水）
- ③ 富山県福祉カレッジ運営委員会 令和3年1月28日（木）

（2）福祉カレッジ研修事業の実施

福祉人材の養成及び資質の向上を図るための研修を実施 受講者実人員 4,756名

① ソーシャルワーク研修

専門多職種連携セミナー、地域福祉推進セミナー、相談援助技術研修、子育て支援研修

② ケアワーク研修

福祉用具体験講座Ⅱ、新任職員介護技術実践サポート研修、新任職員指導者技術向上研修（排泄編・排泄技術編）、住宅改修事業者研修、腰痛予防推進研修（腰痛予防研修・フォローアップ研修・リフトリーダー養成研修）、腰痛予防指導者育成研修（基礎研修・フォローアップ研修）、腰痛予防対策取組み事例報告会、腰痛予防推進〔出前講座〕、富山型デイサービス職員研修（初級編・中級編・中間管理職編）、施設訪問中堅リーダー研修、

介護職員リスクマネジメント研修、認知症ケア研修（初級編・応用編）、終末期ケア研修、虐待防止・権利擁護研修、ハラスメント防止研修

③ **福祉職員キャリア支援研修・福祉サービス経営研修**

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダー研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員研修、社会福祉法人セミナーⅠ・Ⅱ

④ **目的課題別研修**

福祉用具体験講座Ⅰ（一般県民）、小・中・高生の介護体験講座、福祉用具・住宅改修研修、福祉用具プランナー研修、障害児保育研修、ハートフル保育普及研修会（初任者研修）、新任職員接遇・コミュニケーション研修、ホームヘルパー技術向上研修、サービス提供責任者研修、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）、福祉サービス第三者評価評価調査者継続研修、富山型デイサービス起業家育成講座、介護支援専門員再研修、介護支援専門員実務研修、民生委員・児童委員研修、社会福祉法人監査指導担当者研修

（３）介護支援専門員実務研修受講試験事業

① **令和２年度富山県介護支援専門員実務研修受講試験の実施**

試験実施日：令和２年１０月１１日（日）

試験会場：サンシップとやま、富山県農協会館

出願者数 513 名、受験者数 465 名、合格者数 88 名（合格率 18.9%）

3 福祉・介護機器活用による職場の活性化とスキルアップ

（１）効果的な福祉・介護機器の活用支援

① **福祉・介護機器の展示・相談、貸出、情報提供**

ア 展示場・モデルルームでの展示及び相談体制の整備

展示品：738 点、来所者数：475 名、相談者数：217 名、相談件数：325 件

イ 適合評価を目的とした専門職への貸出事業の実施

貸出件数：31 件

ウ ホームページ及び広報誌への掲載による情報提供

② **福祉・介護機器の理解・活用促進に繋がる研修及びイベントの開催**

ア 福祉用具活用講座Ⅰ（一般県民対象） 参加者：106 名（10 回）

イ 福祉用具活用講座Ⅱ（福祉関係者対象） 参加者：553 名（42 回）

ウ 小・中・高生の介護講座 参加者：386 名（14 回）

エ 新任職員介護技術実践サポート研修（福祉関係者対象） 参加者：48 名（3 回）

オ 新任職員指導者技術向上研修（排泄編・排泄技術編） 参加者：61 名

カ 福祉用具・アイデアコンクールの開催 応募作品数：153 点 受賞作品数：21 点、1 校

③ **住宅改修に関する相談事業の実施**

福祉用具・住宅改修活用広域支援事業

ア 福祉用具・住宅改修支援連絡協議会の開催

令和 3 年 2 月 3 日（水） サンシップとやま 出席者：10 名

- イ 専門相談員の登録（相談員の発掘と資質向上）
登録相談員：10名
- ウ 福祉用具・住宅改修の相談・充実
所内相談・出張相談総数：45件（延べ60件）
- エ 福祉用具・住宅改修に関わる関係者の資質の向上（研修等の実施）
 - ・福祉用具・住宅改修研修（基礎研修）
福祉用具・住宅改修に関する基礎知識の習得を目的として実施
令和2年12月3日（木）、10日（木）、17日（木）
サンシップとやま 受講者：18名
 - ・福祉用具・住宅改修研修（福祉用具研修）
利用者に適した福祉用具の選定や活用方法の習得を目的として実施
令和2年7月1日（水）、8日（水）、15日（水） サンシップとやま
受講者：14名（延べ52名）
 - ・住宅改修事業者研修（基礎編）
住宅改修事業者を対象に福祉用具や住宅改修に関する知識の習得を目的として実施
<第1回>令和2年8月26日（水） サンシップとやま 受講者：15名
<第2回>令和2年9月2日（水） サンシップとやま 受講者：14名
 - ・住宅改修事業者研修（応用編）
住宅改修事業者を対象に、事例による住宅改修プランニングの演習を行う
令和2年9月9日（水） サンシップとやま 受講者：13名
- オ 福祉用具・住宅改修活用広域支援事業の広報（関係機関及び関係者）
 - ・福祉用具・住宅改修出張相談事例集の作成・配布
 - ・パンフレットの作成・配布
 - ・関係機関に対する相談ニーズ調査の実施

（2）福祉・介護機器を活用した介護技術研修の実施と指導者の育成支援

① 介護技術向上のための研修の実施

利用者の特性や能力に適した福祉・介護機器の選定を支援し、利用者・介助者双方にとって安全で安楽な介護の知識と技術の普及・定着を推進する。

- ア 新任職員介護技術実践サポート研修の実施
- イ 新任職員指導者技術向上研修の実施
- ウ 福祉用具・住宅改修研修の実施
- エ 福祉用具プランナー研修の実施

② 腰痛予防対策推進研修の実施

- ア 腰痛予防研修会
介護職員の腰痛予防のために必要な知識・技術を習得し、職場での腰痛予防対策を推進するための研修を実施
令和2年6月26日（金）、6月27日（土） サンシップとやま 参加者：25名
- イ 腰痛予防フォローアップ研修会
腰痛予防研修修了者のスキルアップを図るための研修を実施
令和2年6月26日（金） サンシップとやま 参加者：16名

ウ リフトリーダー養成研修会

介護職員の腰痛予防と利用者の安全な移乗のために、リフトを使用した介助方法を指導できる人材を養成するための研修を実施

- ・第1回 令和2年9月15日(火)、16日(水) サンシップとやま 参加者：12名
- ・第2回 令和2年9月15日(火)、17日(木) サンシップとやま 参加者：16名

エ 腰痛予防指導者育成研修会

福祉施設において、介護職員の腰痛予防対策が推進できるように、指導者を育成するための研修を実施

- ・基礎研修：施設利用者個々に対応できる介助技術と職員への指導方法の習得
 - <Aコース>令和2年7月6日(月)、7月16日(木)、7月30日(木)、8月6日(木)
サンシップとやま 受講者：9名
 - <Bコース>令和2年7月6日(月)、7月13日(月)、7月20日(月)、7月27日(月)
サンシップとやま 受講者：10名
- ・フォローアップ研修：基礎研修修了者を対象に、受講者の指導力を高める
令和2年9月3日(木)、9月7日(月)
受講者：18名

オ 腰痛予防取り組み事例報告会

腰痛予防の取り組みに関して、事例報告会や意見交換会を開催することで、他施設への腰痛予防対策の普及・定着を図るために実施

令和3年1月23日(土) サンシップとやま・オンライン 参加者：19名

特別講演

金城大学医療健康学部 学部長 教授 木林 勉 氏

金城大学社会福祉学部 社会福祉学科 助教 秋山 陽子 氏

報告者

特別養護老人ホームあんの里 理学療法士 濱田 まどか 氏

特別養護老人ホームつまま園 作業療法士 浜出 都 氏

カ 腰痛予防推進 [出前講座]

これから腰痛予防に取り組もうとする介護施設・事業所等へ講師が出向き、利用者の自立を引き出す介護技術を指導することにより、職員の腰痛予防意識の高揚や行動の変容の促進を目的に実施

特別養護老人ホームおあしす新川：令和3年2月4日(木) 参加者：17名

J Aいなば福祉支援センターデイサービスセンター：令和3年2月24日(水)

参加者：16名

③ 腰痛予防対策推進施設の指定・支援

指定施設：(継続) 特別養護老人ホームきらら (南砺市)
特別養護老人ホームささづ苑 (富山市)
特別養護老人ホームソレイユ (富山市)
特別養護老人ホーム福寿園 (南砺市)
特別養護老人ホーム越野荘 (黒部市)
特別養護老人ホームほのぼの苑 (氷見市)
特別養護老人ホームあんの里 (魚津市)
特別養護老人ホームだいが苑 (高岡市)

介護老人保健施設城端うらら (南砺市)
介護老人保健施設みどり苑 (富山市)
特別養護老人ホーム七美ことぶき苑 (射水市)
特別養護老人ホームつまま園 (氷見市)
(新規) 特別養護老人ホーム有磯苑 (朝日町)

【推進項目6】

利用者本位による福祉サービスの選択と福祉サービスの質の向上

家族形態・地域社会の変容に伴い福祉ニーズが多様化・複雑化する中、福祉サービス事業者には、「利用者本位」を基本とした質の高い福祉サービスの提供が求められています。

そのため、利用者の権利擁護を重視しながら、利用者・家族への適切な対応や地域の社会資源を活かしたサービス提供等がなされるよう、事業者における自己評価・外部評価の実施や広く住民等への情報公表を行いました。

1 福祉サービスの見える化と質の向上

(1) 福祉サービス第三者評価事業の実施

① 地域密着型サービスにかかる外部評価の実施

認知症対応型共同生活介護事業所 24件

② 福祉サービスにかかる第三者評価の実施

社会的養護施設（児童養護施設） 1件

障害者施設 1件

児童福祉施設（保育所） 7件

居宅介護事業所 1件

③ 福祉サービス評価・公表事業運営委員会の開催

第1回 令和2年6月26日（金） サンシップとやま

第2回 令和2年8月21日（金） サンシップとやま

第3回 令和2年10月20日（火） サンシップとやま

第4回 令和2年11月30日（月） 富山県民会館

第5回 令和2年12月25日（金） 富山県民会館

第6回 令和3年1月29日（金） 富山県民会館

第7回 令和3年3月11日（木） サンシップとやま

④ 評価調査者の登録

登録者 33名（令和3年3月末日現在）

(2) 利用者の福祉サービスの選択

介護サービス情報の公表事業の実施

・指定情報公表センターの運営

「令和2年度情報公表計画」に基づく報告・調査・公表事務

報告受理事業所 1,859件（令和2年10月～令和3年3月）

調査事業所 66件（令和2年11月～令和3年3月）

公表事業所 1,859件（令和2年10月～令和3年3月）

・新規事業所説明会の開催 1回

第1回 令和2年9月3日（木） サンシップとやま

第2回 文書による案内

・公表事業運営委員会の開催

令和3年3月11日（木） サンシップとやま

- ・ 指定調査機関の運営
調査対象事業所への訪問調査実施 38 件
- ・ 調査員の登録
登録者 17 名（令和 3 年 3 月末日現在）

（3）福祉サービスに関する苦情解決のための取り組み強化

① 福祉サービス運営適正化委員会の開催

- 第 1 回 令和 2 年 7 月 2 日（木） サンシップとやま
- 第 2 回 令和 2 年 11 月 5 日（木） 富山県教育文化会館

② 日常生活自立支援事業の運営監視

ア 運営監視部会による現地調査の実施

令和 2 年 7 月 28 日（火）～8 月 4 日（火） 対象：5 市町村社協（魚津市、氷見市、滑川市、南砺市、舟橋村）

イ 運営監視部会の開催

令和 2 年 9 月 8 日（火） サンシップとやま
協議事項：実施状況、現地調査結果、現地調査報告

③ 福祉サービスに関する苦情解決事業の推進

ア 苦情解決部会の開催（年 6 回）

- 第 1 回 令和 2 年 4 月 23 日（木） 文書
- 第 2 回 令和 2 年 7 月 2 日（木） サンシップとやま
- 第 3 回 令和 2 年 8 月 27 日（木） サンシップとやま
- 第 4 回 令和 2 年 11 月 5 日（木） 富山県教育文化会館
- 第 5 回 令和 2 年 12 月 17 日（木） サンシップとやま
- 第 6 回 令和 3 年 3 月 4 日（木） サンシップとやま

イ 苦情解決に必要な助言、相談、調査

苦情・相談受付件数：41 件

ウ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ 県社協ホームページ、県社協広報誌「福祉とやま」への掲載、リーフレット 1,000 部、福祉事業所等における苦情解決の手引き等の配布による広報啓発

【推進項目 7】

地域福祉推進のための組織基盤の強化

富山県社協は地域福祉推進を目的とする公益かつ広域的な組織として、社会福祉関係者や住民等と連携を図りながら、県内の様々な福祉・生活課題に対応してまいります。

多種多様な事業を効果的に展開していくために、適正な業務執行体制の確立を図るとともに、人材育成や民間財源の適切な活用、自主財源の確保、調査研究や情報発信機能の強化など、組織基盤の強化を図りました。

1 経営・財政基盤の強化

(1) 第4次県社協活動推進計画の推進

第4次活動推進計画策定後4年目の進行管理ならびに第5次活動推進計画を策定する上で本会が取り組むべき事項・方向性等について検討するため、評価委員会を開催し、協議を行った。

令和3年3月11日（木） サンシップとやま

(2) 適正な業務執行体制の確立

① 役員会等の開催状況

会議名		開催日	主な審議事項
正副会長 会議	第1回	令和2年5月28日	(福) 富山県社会福祉協議会の財務状況と対応、第1回理事会への提出議案等
	第2回	令和3年3月18日	第4回理事会、第2回評議員会（文書審議）への提出議案等
理事会	第1回	令和2年6月4日	元年度事業報告・収支決算、理事候補者の選定、評議員候補者の選定、第1回評議員会（定時評議員会）の招集、福祉サービス運営適正化委員会事業報告、会長及び専務理事の職務執行状況報告
	第2回 (書面)	令和2年8月18日	評議員候補者の選定
	第3回 (書面)	令和3年2月15日	第2回評議員会の開催
	第4回	令和3年3月25日	収支補正予算、3年度事業計画・収支予算、一時借入金（案）、資金運用方針（案）、社協の保険（役員等賠償補償）の加入内容、運営適正化委員会規程の一部改正、就業規則の一部改正、育児休業規程の一部改正、押印見直し等に伴う関係規程の一部改正、役員候補者の選定、評議員候補者の選定、会長及び専務理事の職務執行状況報告
評議員会	第1回 (書面)	令和2年6月29日	元年度事業報告・収支決算、理事の選任
	第2回 (書面)	令和3年3月31日	収支補正予算、3年度事業計画・収支予算、役員 の選任
監事会		令和2年5月25日	元年度業務執行状況及び財産状況の監査
評議員 選任・解任 委員会	第1回 (書面)	令和2年5月7日	評議員の選任
	第2回 (書面)	令和2年8月28日	評議員の選任

(3) 社協活動の推進に向けた市町村社協との協議

① 市町村社協会長会議の開催

令和2年8月20日(木) サンシップとやま
情勢報告・状況報告・意見交換

② 市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催

令和3年2月25日(木) オンライン
次年度予算及び事業説明・情報交換等

(4) 会員施設・事業所、賛助会員の加入促進

令和3年3月末現在会員状況

正会員：1,114 施設・団体 賛助会員：129 団体・個人

(5) 多様な民間財源・基金の活用と自主財源の確保

① 基金運営委員会の開催

令和3年3月4日(木) サンシップとやま
報告事項 基金の積立・運用及び収益金の状況について
審議事項 令和3年度基金収益金の配分案について

② 研修受講料の徴収

③ 図書斡旋による手数料収入の確保

2 情報収集と発信機能の強化

(1) 富山県社会福祉功労者表彰式の開催

富山県内で地域福祉活動や募金活動の推進にご尽力いただいた個人・団体を表彰した。
令和2年10月13日(火) サンシップとやま

(2) 福祉・生活課題の解決に向けた提言活動の推進

県福祉関係施策及び令和3年度県予算に関する要望書を令和2年11月12日に県・関係方面へ提出した。

(3) ウェブサイトや広報誌等の効果的活用による情報発信機能の強化

① 県社協ホームページ活用事業

情報発信の仕組みとして安定的に運用され、より閲覧しやすく情報を得やすいウェブサイトとなるよう、ページの改訂等を随時行った。

② 広報誌「福祉とやま」の発行及び編集会議の開催

- ・ 広報誌「福祉とやま」(奇数月に各11,000部発行)
- ・ 広報誌編集会議の開催 令和2年4月30日(木)、10月30日(金)

(4) 各種助成金情報の提供

福祉関連の助成金情報についてウェブサイトに掲載し、広く周知するとともに助成金の問い合わせがあれば随時紹介・案内を行った。

3 組織体制の強化

(1) 事務局体制の強化と職員の専門性や資質向上に向けた取り組みの推進

社協職員として必要な知識・技術の習得を図るため、外部研修へ参加及び通信教育講座を受講

- ・ 社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座（初級コース）受講（1名）
- ・ 通信教育講座受講（管理職基本コース1名、実力中堅コース2名）

(2) 危機管理体制の充実

災害時初動対応計画・事業継続計画（BCP）にもとづき、県内で大規模災害が発生した場合に、職員がとるべき初期行動と、限られた人員や設備で早期に態勢復旧し、本会業務の中断を最小限に止めるための必要な取り組みについて確認した。

(3) 指定管理者としての富山県総合福祉会館（サンシップとやま）の機能強化

- ① 施設の指定管理業務を富山県から受託
- ② 指定管理期間（第4期 3年目）：2018年4月1日～2023年3月31日（5年間）
- ③ 施設の利用状況
 - ・ 研修室等利用率 32.82%（前年比 Δ2.66%）
 - ・ 利用料収入 24,438千円（前年比 Δ18.79%）
 - ・ 減免団体利用率 92.62%（前年比 +6.17%）

令和2年度事業報告附属明細書

令和2年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。